

教訓 03

「危ない」「怖い」
より早く
逃げる



①まず指定緊急避難場所へ、困難な場合近隣の高い建物、強度の高い建物へ移動
②屋外への移動が危険な場合は屋内でも2階以上で安全を確保できる高さに移動。

【教訓02】で見た三島市から皆さんへの避難情報の伝達方法3点。
市は情報が確定すると同報無線放送を行います、
・風雨の音で声が消える
・各家の防音性の向上
といった問題により、細かい情報を聞き取ることが難しくなっています。
同報無線は「きつかけ」です。放送音が聞こえたら、「情報を取りに行く」ことを心がけてください。



—市民メールに登録し、いち早く情報を獲得しよう—



step 02 利用者登録

▶配信情報を選べます

配信を希望する情報を選択し、「入力内容を登録する」。その後本登録完了のメールが来ます。



step 01 空メールを送る

▶自動的に返信されます



「仮登録完了のお知らせ」が届きます。本文中のURLをクリックし、利用者登録へ。



三島市から配信される情報の例
Jアラート情報
気象警報
避難情報
震度速報
同報無線放送内容



講演

狩野川台風の
記憶を次世代
につなぐ

狩野川台風60年シンポジウム

伊豆半島に多大な風水害をもたらした狩野川台風発生から、今年で60年。死者、行方不明者は800人を越え、その被害は戦後最大とも言われています。あの悲劇を二度と繰り返さないため、世代間の「記憶をつなぎ」、流域内の「人々をつな



▲一面のガレキが凄惨さを語ります

ぎ」、将来流域に住む人々の「未来の安全・安心へとつなぎ」、強く・しなやかな地域をつくっていくことを目的に「狩野川台風60年シンポジウム」を開催します。

時 9月29日(土)午後1時30分～3時30分
※午後0時30分開場
場長岡総合会館アクリスカつらぎ(伊豆の国市)大ホール

申・閏9月21日(金)までに沼津河川国道事務所
☎934・2009



実践

防災力アップ!
人材育成講座
参加者募集



▲重量物除去訓練

対市内在住で中学生以上の人定各回50人※応募多数時抽選
申・閏氏名、性別、住所、電話番号、年齢、希望日、時間帯を危機管理課QR
☎983・2751
FAX981・7720
✉kiki@city.mishima.shizuoka.jp

	とき※ 【申込期限】	場所	時間	内容(講師)
第1回	10月6日(土) 【9月28日(金)】	三島消防署	午前	高齢者、障がい者の避難支援 (障がい者応援大使:河合孝彦さん) 芙蓉台自治会の防災活動取り組み(芙蓉台自治会)
			午後	ロープワーク、重量物除去訓練(富士山南東消防本部)
第2回	10月20日(土) 【12日(金)】	三島消防署	午前	トリアージと身近なものを使った応急手当 (NPO法人災害・医療・町づくり)
			午後	イメージTEN、自主防災本部の運営(危機管理課)
第3回	11月10日(土) 【2日(金)】	南小学校	午前	災害時のトイレ対策、防災クイズ(危機管理課)
			午後	避難所開設訓練(危機管理課)

※時間は全て午前9時30分～午後3時30分(昼休憩1時間ほどあり)
各回半日単位での申込みも可